

集約化施業について

県内の人工林は、戦後に植林され保育作業を必要とする林分が多くを占めていました。ところが、森林資源が次第に成熟するにつれ、間伐材でも十分利用可能な状況になりつつあります。

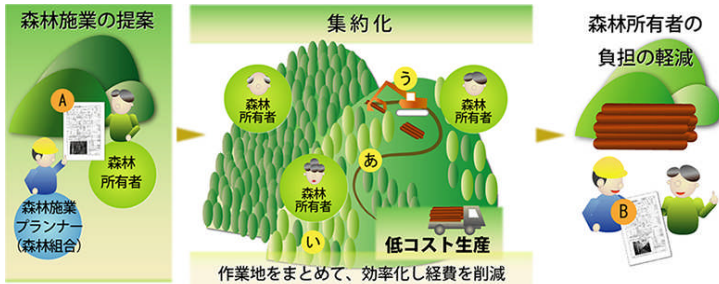
また、世界の木材需要は長期的に増加傾向にあり、中国における木材需要の増加やロシアにおける丸太の輸出関税問題など世界貿易の状況に大きな変化が見られます。このため国内の製材・合板業界では、国産材の利用を拡大する動きが本格化しており、近隣府県でも大規模な製材・合板工場等が整備・拡充され、滋賀県産材に対する期待も高まってきています。

しかし、木材流通が世界規模になり、国際水準になった現在の木材価格では、小面積で間伐材を搬出した場合、コストも掛かり収益につながりません。「山は持っているけど、間伐をするにはお金がかかるしなあ・・・」という声もよく聞きます。

そこで、複数人の森林をとりまとめて、間伐を行うようにすれば、効果的な作業道を開設したり、高性能林業機械を使えることになって、収益を上げやすくなります。これを「施業の集約化」と言います。

施業の集約化には、専門的な知識と技術が必要です。森林組合などの林業事業体がまとめ役になって、各森林

所有者の施業界*の確認作業を行い、所有者の合意の上で、間伐に必要な経費や木材の販売見込み額を明らかにした「森林施業プラン」を作成し、森林所有者にも分かりやすい形で作業を行うこととしています。さらに、集約化施業により作業道を整備して、いったん間伐が進めば、次回の間伐からは、その道が使えることや、間伐により成長が促進され、1本当たりの材積は増えることになり、生産効率や収益性は、さらに向上します。



集約化施業により、間伐をしてもらおうと思っても、何から手をつけていいのかわからない・・・

そんな時には、中部森林整備事務所や地元の森林組合などに、一度ご相談ください。今のうちに施業界を明らかにして、将来につながる森林づくりを進めましょう。

*施業界：施業（間伐など）を行う森林の境

鹿肉レシピ

今、野生のシカの被害が問題になっています。各地で駆除が進められていますが、そのシカ肉の有効活用も必要です。銃で撃つたりワナで捕まえたりは簡単にはできませんが、おいしく食べることで獣害対策に貢献しましょう。

チンジャオロース
鹿肉青椒肉絲
材料(4人分)
鹿肉(モモ)200g、ピーマン1個
カラーピーマン(黄) 1個
カラーピーマン(赤) 1個



サラダ油大さじ2、黒こしょう小さじ1、にんにく1片
A(しょうゆ小さじ2、片栗粉小さじ2、ごま油小さじ2)
B(しょうゆ大さじ2、日本酒大さじ2)
C(片栗粉小さじ2、水大さじ1)、揚げ油適量

- ①鹿肉は繊維に直角に1センチ厚に切り、1センチ角の短冊に切りAに漬けておく。
- ②ピーマン(赤・黄・青)は、縦半分に切りヘタと種を取り、縦5ミリ幅にきる。
- ③フライパンに多めにサラダ油を入れ弱火に②のピーマンを軽く揚げて、油を切っておく。
- ④③を中火にして、①鹿肉を入れてくっつかないように表面がカリッとしたら揚げる。
- ⑤フライパンにサラダ油を熱し、にんにくのみじん切りを入れ香りが立つまで炒める。
- ⑥ピーマン・鹿肉を入れ、Bを加えて炒め合わせる。
- ⑦Cの水溶き片栗粉を回し入れ、大きく混ぜてとろみをつける。
- ⑧器に盛り合わせてこしょうをふって完成。

出展：圏域事業「獣害のない元気な里づくり推進事業」成果物「ニホンシカ」料理レシピ集ベスト220 No.171
提供：東近江農業農村振興事務所

山の道具 手袋(てぶくろ)



山の作業に於いて手袋は欠かせない。草木の棘や枝はもちろん、蜂や蚊などの危険生物、自分の使う道具類、ウルシなどからも手を守ってくれる。冬の寒さの中で作業が出来るのも手袋のおかげだ。近年では、チェーンソーや刈り払い機などの機械の震動を防ぐ手袋もある。

さらに、手袋には重要な役割がある。物をしっかり握ることを可能にする。表面が粗く手を傷つける物や滑りやすい物などをしっかり持つことが出来る。作業能率を向上させるだけでなく、さらなる危険を防ぐことにも繋がる。満身創痍の姿が微笑んでいる

— ご無事でなによりです —

編集後記

今回の特集は森林環境学習「やまのこ」事業です。中部森林整備事務所管内には3つの「やまのこ施設」があり、それぞれの特色を活かしたプログラムが展開されています。どの施設とも充実したプログラムで子供たちがうらやましいくらいです。(砂田)

滋賀県中部森林整備事務所 〒527-8511 滋賀県東近江市八日市緑町7-23 ☎0748-22-7718 fax0748-22-8798



我々の仲間を募集しております。
荒神山・人と森の会 久保忠三
連絡先0749-28-0139

荒神山・人と森の会
平成17年夏 荒神山
日夏町からの登頂参道付近から山頂周辺にかけて、雑木や松、竹林などが乱立し出入りが出来ない程荒廃しておりました。元々このあたりは地元の紅葉と桜は約50〜60年前に植樹されたものであり、宇曾川桜並木は近隣の小学校の校歌にも登場しています。それを、雑木などが繁茂して覆い隠すような状態でした。
「このままでは荒山になってしまふ」「誰かが何とかしなければ先人に申し訳ない」との思いに駆られまして。
丁度この頃、彦根市中南部まちづくり協議会が平成16年に設立され、翌年の組織に入会し、仲間6人で里山の手入れに着手したのであります。まず手始めに4連自治会組織のまち協と一体となって宇曾川千手山間道、全長500m程の桜並木荒廃道を20数名で整備しました。翌年4月に第一回宇曾川桜祭
り、盛り沢山なイベント等により、盛大に開催されました。本年も第六回宇曾川桜祭りを雪洞25個、提灯多数を飾りつけ点灯し、憩いの場づくりに努めております。
一方、里山づくりに於きましては、『県民参加の里山づくり』の支援制度を知り早速19年より、県、市、2ボランティア団体、地元的地権者と一体となって取り組み、5年目を迎えます。山頂荒神山神社より北東約400mの三角点まで(古墳出土区域を除く)、約0.2haを整備しました。平成21年3月には彦根工業高校建築課による東屋の設計図を基に市が修正、八角形の東屋が完成しました。この一帯の森林整備も今年8月にはほぼ活動完了の予定であります。この秋よりは山麓の頂上参道の整備、及び側面の沼池、蛇岩林の整備に取り組み平成25年春の完成の予定です。
彦根工業高校や地元の皆さんの献身的協力を頂いて感謝申し上げます。



ハングライダーが飛び交う光景に出会うことも



荒神山からの眺望は彦根八景にもなっている(沖島方面を望む)

荒神山を歩こう会 奥山文昭
連絡先090-2520-363

荒神山ウォーカーのすすめ
標高約284メートル、彦根市南部・琵琶湖のほとりに位置する荒神山。山頂に「火・かまど(台所)」の神様である荒神様が祀られていることがその名の由来であり、昔から信仰の山として親しまれています。
「うみ風渡る荒神山」彦根八景の一つにも数えられる荒神山から琵琶湖への眺めは美しく、訪れた人の心を魅了しました。この美しく清々とした環境が、神様を祀る場所、そして国の史跡に指定された県内2番目の規模を誇る「荒神山古墳」を築く場所としても相応しかつたのでしよう。
麓には荒神山公園・子どもセンター・少年自然の家・曾根沼緑地公園といったレジャースポット、山中にはお寺や神社・荒神山古墳・ハングライダのフライトスポット、ハングライダのフライトスポットなど多
種多様なスポットが荒神山には点在しています。
そして、荒神山を楽しむ一番のすそめはやはり眺望を楽しむながらの山歩きです。いくつもある道の中でも一番の人気コースは、山の東側・日夏町の宇曾川沿いにある登り口から山頂までの舗装された林道(車道)を行くコースで片道約2.8キロ・40分の道のりです。このコースは森林浴を楽しめるだけでなく、緑のトンネルを潜り中腹まで登ると琵琶湖の景色が見えはじめ、気象条件が良ければ竹生島・竹島・沖の白石・沖島の琵琶湖に浮かぶ全靴などの装備は必要なく普通の格好で気軽に歩くことができ、往復約1時間余りの散歩気分味わえるのが人気の秘密です。近年は歩きのペースから日常的に荒神山を歩く「荒神山ウォーカー」が増え、山の美化活動に取り組みボランティアが活躍するようになりました。
また、麓にある県立荒神山少年自然の家はこの4月から彦根市が運営することとなり、一般の子供から大人まで利用できる体験型宿泊施設「荒神山自然の家」として生まれ変わり、今後の活用が期待されます。



「荒神山」

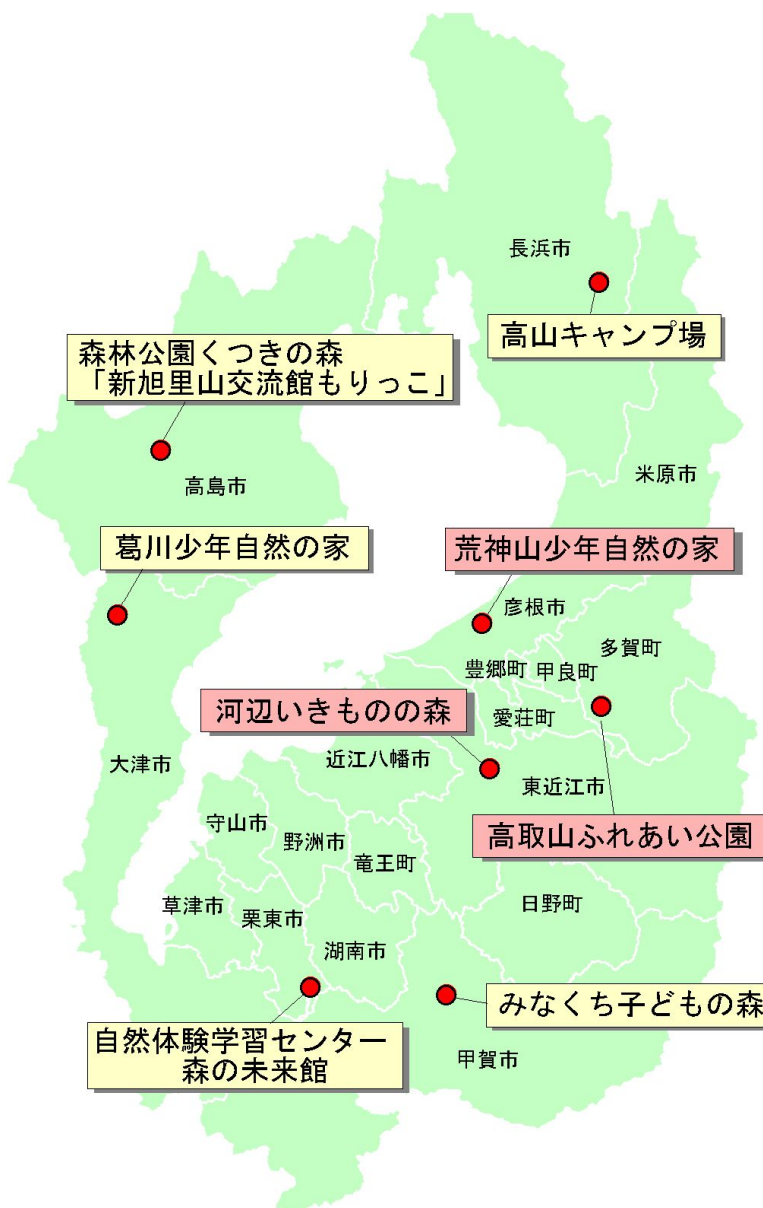
森林環境学習「やまのこ」事業とは？

森林環境学習「やまのこ」事業とは、次代を担う子どもたちが、森林への理解と関心を深めるとともに、人と豊かに関わる力を育むことを目的にしています。具体的には、県内の小学4年生が県内各地の施設およびその周辺林で、間伐をしたり自然観察をするなど様々な体験をとおして学習をします。「やまのこ」事業は、学校教育の一環として位置づけられており、平成21年度には、県内のほぼすべての小学校が参加することができました。子どもたちが体験をとおして森林への理解を一層深めるために、さらにプログラムの充実を図っていきます。

「やまのこ」は県内にある8つの『やまのこ施設』と県内それぞれの小学校とが連携して行う森林環境学習です。

「やまのこ」で行われるプログラムは、施設の指導員と小学校の先生が協議して作ります。プログラム内容は、森林ウォーキング、樹木観察、自然体験ゲーム、間伐・枝打ち体験、薪づくり体験、炭焼き体験等があります。単純な学習とならないように、楽しみながら学習出来るよう遊びの要素を取り込んでいるものもあります。その中で森林と人の関わりを学ぶことが出来るようにしてあります。プログラムによっては、事前学習や事後学習を実施することも出来ます。事前学習では、森林の役割や、人や多くの生き物が森林から得ている恩恵を考える時間など、学校の授業の中に取り入れます。事後学習では、発表会をしたり感想文を書いてもらったりして、児童の理解度を確認します。当初は様々な課題もありましたが、今ではかなり円滑に実施出来るようになりました。これも、施設のスタッフと学校の先生方の努力の成果だと思えます。

今回は、中部森林整備事務所管内の3つの『やまのこ施設』を紹介します。



河辺いきものの森

場 所 東近江市建部北町531番地
 連絡先 TEL 0748(20)5211 FAX 0748(20)5210
 ホームページ <http://www.yurinkai.org/>

主な施設
 ネイチャーセンター、作業小屋、自然観察路(約3km)、林冠トレイル、あずまや、自然観察施設ほぼはうす、など

主なプログラム
 森の生き物の話や注意、森のクイズラリー、森の自然を活かしたゲーム、木や竹を使ったクラフト、など

専任指導員からのメッセージ
 「森って楽しいところ！また来たい！」と子どもたちに思ってもらえるように心がけています。そのために、どのようなプログラムがよいか学校の先生と十分な打ち合わせを行い、季節や人数に応じたプログラムを作っていきます。いろいろなものを発見し、触れあい、学び…と、森の中ですごす一日はあっという間です。この一日だけではなく、また森へと足を運んで新たな発見をし、森への関心を深めてもらいたいと思っています。



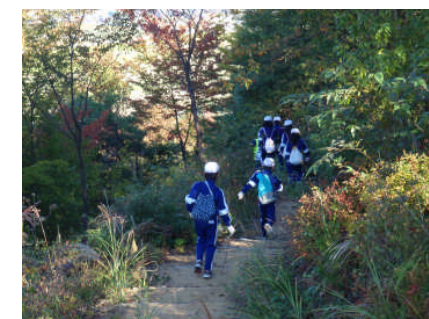
荒神山少年自然の家

場 所 彦根市日夏町宮前4794番地
 連絡先 TEL 0749(28)1871 FAX 0749(28)1872
 ホームページ <http://www.nionet.jp/koujinyama/>

主な施設
 宿泊施設(宿泊室14、集会室、学習室など)、創作活動棟、キャンプ場、営火場、ウォークラリーコース(5コース)、リバーボート(20艇)、など

主なプログラム
 ウォークラリー(自然観察)、グリーンアドベンチャー(樹木観察)、リバーボート(森の恵み宇曾川観察)、焼き杉クラフト、など

専任指導員からのメッセージ
 「美しい緑 清らかな光 澄んだ空気」に恵まれた豊かな自然の中で、荒神山でのウォークラリーや宇曾川でのリバーボートを中心に、焼き杉クラフトや丸太切り体験など、多彩な活動を行っています。また、宿泊施設を生かした体験型学習(1泊2日が主)はほかには見られない特徴でもあります。今年4月からは「彦根市荒神山自然の家」としてオープンします。今後とも「やまのこ学習」や地域の青少年団体・市民等に幅広く利用されることを希望します。



高取山ふれあい公園

場 所 犬上郡多賀町藤瀬1090番地
 連絡先 TEL 0749(49)0635 FAX 0749(49)0606
 ホームページ <http://takatori.tagatown.jp/>

主な施設
 宿泊施設(バンガロー9棟、高取ハウス、山の家)、交流センター、共同炊事場、森のドーム、木工芸体験施設、自然エネルギー施設、など

主なプログラム
 森林ウォーク、森林レクチャー、山のお仕事見学・体験、木くずリサイクル学習、木工クラフト、など

専任指導員からのメッセージ
 森林に囲まれた高取山の裾野に広がる公園で、森林の役割について植樹、間伐、伐採、枝打ち、加工、利用、リサイクル等持続可能な形で循環させながら利用していく社会の一部を体験学習できるフィールドです。又、恵まれた環境で育った樹木、草花観察ウォークを含め魅力ある楽しい森林環境学習「やまのこ」を体験し生徒たちには素敵な思い出を作してほしいと願っています。



『琵琶湖森林づくり事業』とは？

平成16年4月に施行されました「琵琶湖森林づくり条例」の理念に基づき、琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりを進めるものです。県民の皆様から「琵琶湖森林づくり県民税」をいただき、「琵琶湖森林づくり事業」として様々な事業を実施しています。

平成22年度からの5カ年は、「急がれる県産材の安定供給体制の整備と地球温暖化防止森林吸収源対策による森林の保全整備の推進」をテーマに取り組んでいます。

森林所有者の皆様へ ⇒ 環境を重視した森林づくり
 県民の皆様へ ⇒ 県民協働による森林づくり

